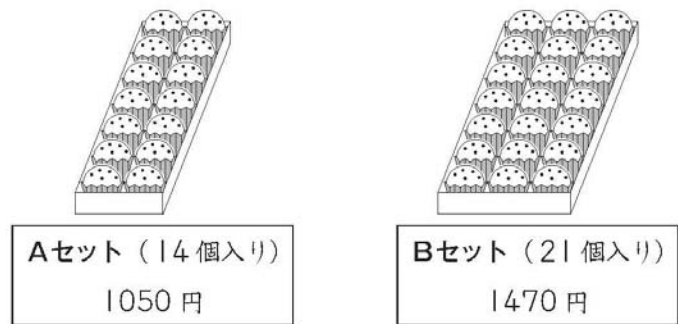


1

カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。

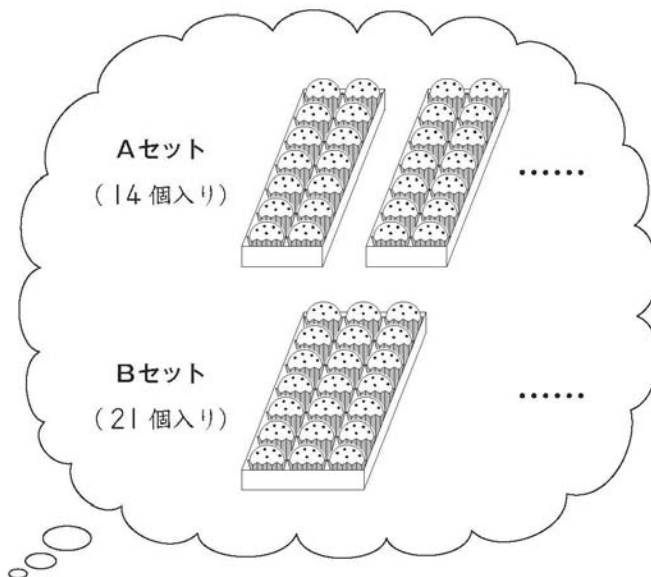


- (1) ゆうとさんは、Aセットを4箱買うことにしました。
 Aセット4箱分の代金を求める式は、 1050×4 です。
 1050×4 を計算しましょう。

解答らん

あいりさんたちは、AセットとBセットのカップケーキを同じ個数にそろえたとき、どちらのほうが安くなるのかについて考えています。

- (2) まず、あいりさんは、AセットとBセットをそれぞれ何箱か買ったとして、考えることにしました。



カップケーキの個数を、14と21の最小公倍数にそろえて考えます。

14と21の最小公倍数を書きましょう。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうとさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。



Aセット (14個入り)
1050円

【ゆうとさんの説明】



1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。

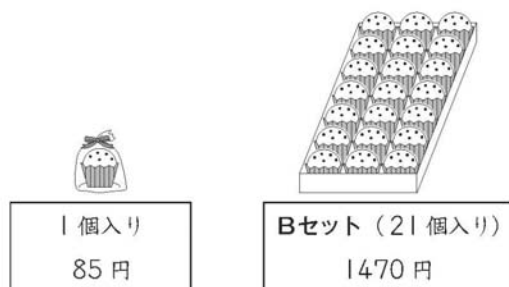


Bセット (21個入り)
1470円

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

- (4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。
くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、**Bセット**
1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。



くるみ

85×21 の答えが1470より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

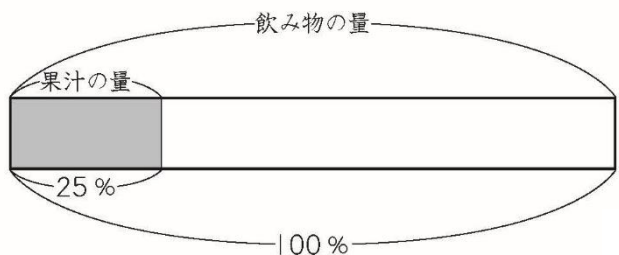
- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

解答らん

2

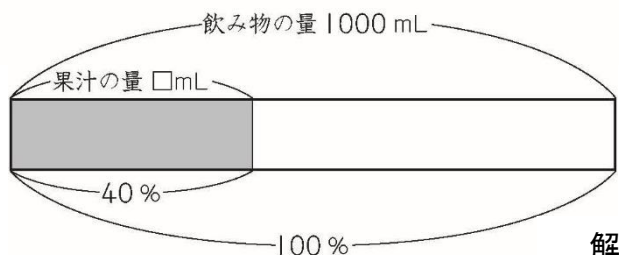
果汁入りの飲み物について考えます。

- (1) オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。
飲み物の量をもとにしたときの、果汁の量の割合を分数で表しましょう。



解答らん

- (2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。
この飲み物1000 mLには、果汁が何 mL 入っていますか。
答えを書きましょう。

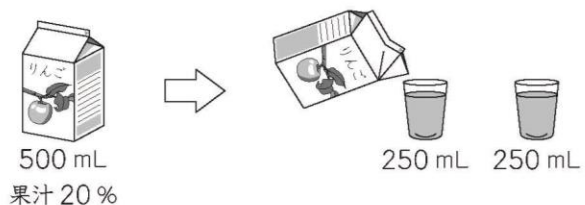


解答らん

mL

年 組 番 氏名

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mL あります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mL になります。



250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

ア

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) かいとさんたちは、果汁の割合と果汁の量がわかっているとき、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、りんごの果汁の割合が30%で、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることにしました。



果汁が30%ということは、果汁が30 mLのとき、飲み物の量は100 mLですね。



そうですね。わたしは、果汁の量から飲み物の量を求めるために、表にまとめました。

果汁の量と飲み物の量

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

上の表を見て、かいとさんは、次のことに気づきました。



果汁の量が2倍、3倍になると、それにもなって飲み物の量も2倍、3倍になることがわかりました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

Diagram showing relationships between values in the table:
 - From 30 to 60 (果汁): 2倍 (2x)
 - From 60 to 90 (果汁): 3/2倍 (1.5x)
 - From 90 to 180 (果汁): 2倍 (2x)
 - From 100 to 200 (飲み物): 2倍 (2x)
 - From 200 to 300 (飲み物): 3/2倍 (1.5x)
 - From 300 to ? (飲み物): 2倍 (2x)

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。



下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

Diagram showing relationships between values in the table:
 - From 30 to 180 (果汁): □倍 (□x)
 - From 100 to ? (飲み物): □倍 (□x)

果汁の量が180 mLのときの飲み物の量は、何 mLになりますか。

180 mLが30 mLの何倍かをどのように求めたのかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

求め方

答え

mL

年 組 番 氏名

3

6年生のまなみさんの学級では、みんながもっと仲良くなるために、お楽しみ会をすることにしました。

- (1) まなみさんたちは学級で話し合い、お楽しみ会の遊びを、次の4つの中から2つ決めることにしました。

クイズ	<small>たからが</small> 宝探し	しりとり	ビンゴ
-----	----------------------------	------	-----

そこで、24人の学級全員にアンケート調査をし、希望する遊びを1人に2つずつ選んでもらい、その結果を下の表にまとめています。

希望する遊び（お楽しみ会）

遊び	ビンゴ	クイズ	宝探し	しりとり	合計
票の数（票）	17	13	12	ア	48

表の中の **ア** に入る数を求めます。

表の中の数を使って、求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

式
答え

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決めます。



選んだ人がいちばん多いビンゴと、その次に多いクイズに決めたらどうでしょうか。



選んだ人がいちばん多いビンゴをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。一人一人が選んだ遊びを見てください。ビンゴとクイズに決めると、22番から24番の3人の希望が1つも通らないことになります。



ビンゴとクイズに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。



24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、24人全員の希望が1つは通るよう
に、2つの遊びを決めることができます。

その2つの遊びは、どれとどれですか。右の一人一人が選んだ遊びを見
て、下の **1** から **4** までの中から**2**つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 クイズ
- 2 たからさがし宝探し
- 3 しりとり
- 4 ビンゴ

一人一人が選んだ遊び

	選んだ遊び	
1	ビンゴ	クイズ
2	ビンゴ	クイズ
3	ビンゴ	クイズ
4	ビンゴ	クイズ
5	ビンゴ	クイズ
6	ビンゴ	クイズ
7	ビンゴ	クイズ
8	ビンゴ	クイズ
9	ビンゴ	クイズ
10	ビンゴ	宝探し
11	ビンゴ	宝探し
12	ビンゴ	宝探し
13	ビンゴ	宝探し
14	ビンゴ	宝探し
15	ビンゴ	しりとり
16	ビンゴ	しりとり
17	ビンゴ	しりとり
18	クイズ	宝探し
19	クイズ	宝探し
20	クイズ	宝探し
21	クイズ	宝探し
22	宝探し	しりとり
23	宝探し	しりとり
24	宝探し	しりとり

解答らん

--	--

※ 問題は、次のページに続きます。

お楽しみ会が終わり、今度は、1年生と交流会をすることにしました。
まなみさんたちは、交流会の遊びを1つ決めるために話し合っています。

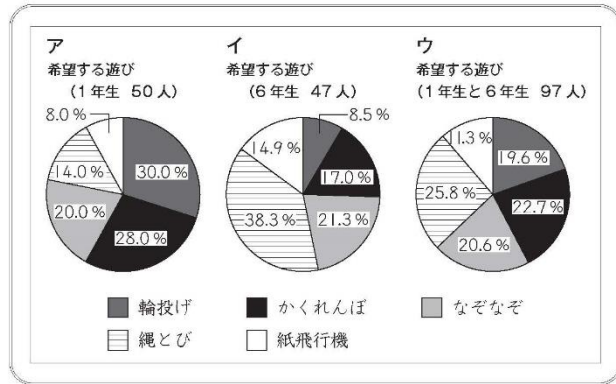


まなみ

1年生も6年生も楽しめる交流会がよいですね。

(3) まなみさんたちは、まず、1年生といっしょにできる5つの遊びを考えました。次に、1年生と6年生にアンケート調査を行い、5つの遊びの中から希望する遊びを、1人に1つずつ選んでもらいました。

アンケート調査の結果は、下のようなグラフになりました。



まなみさんは、交流会の遊びを次のように決めようと考えました。

【まなみさんの考え】

1年生と6年生が希望する遊びの割合を見て、その割合がいちばん大きい遊びに決めるとよいと思います。

【まなみさんの考え】をもとにすると、どのグラフを見ればよいですか。また、どの遊びに決まりますか。

グラフを左の **ア** から **ウ** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、遊びを下の5つの中から1つ選んで、書きましょう。

輪投げ かくれんぼ なぞなぞ 縄とび 紙飛行機

解答らん

グラフ	遊び
-----	----

(4) 交流会の遊びの決め方として、別の意見が出ました。



あかり

1年生の希望をよりかなえてあげるほうがよいと思います。

あかりさんたちは、1年生の希望を1人につき10ポイント、6年生の希望を1人につき5ポイントとして計算し、1年生と6年生のポイント数の合計で遊びを決めることにしました。そこで、下の表を見直しました。

遊び 学年	輪投げ	かくれんぼ	なぞなぞ	縄とび	紙飛行機	合計
1年	15	14	10	7	4	50
6年	4	8	10	18	7	47

あかりさんは、輪投げのポイント数を次のように求めました。

【あかりさんの求め方】

輪投げを希望している人数は、1年生が15人、6年生が4人なので、輪投げのポイント数は、 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ で、170ポイントです。

【あかりさんの求め方】をもとにして、かくれんぼのポイント数を求めると、何ポイントになりますか。

1年生と6年生のそれぞれのポイント数の求め方がわかるようにして、かくれんぼのポイント数の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

求め方	
答え	ポイント

4

コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。

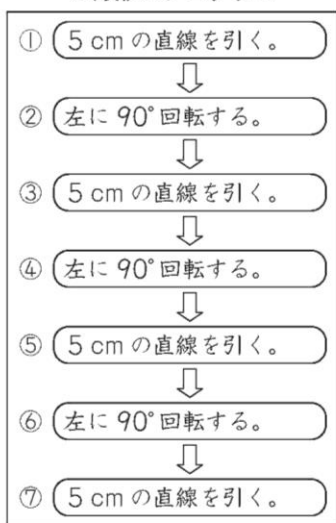
はなこさんは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。



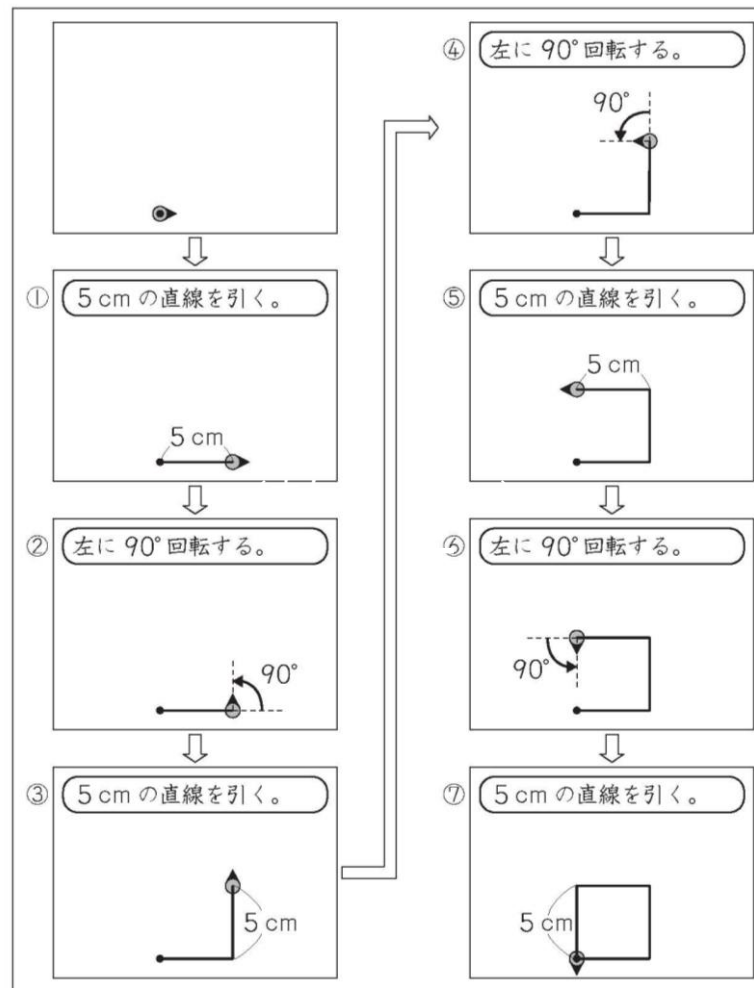
まず、正方形をかきましょう。正方形は、4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しい四角形ですね。

1辺が5cmの正方形をかくために、正方形のプログラムをつくりました。このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置(●)から命令ごとに、●が➡の方向に進みながら直線を引いたり、矢印(↶)の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

正方形のプログラム



年 組 番 氏名



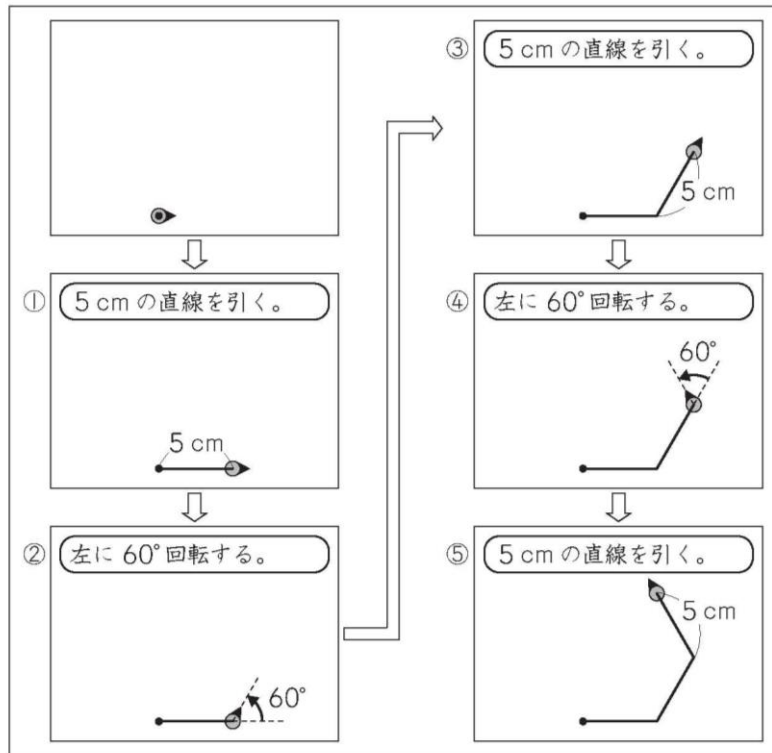
※ 問題は、次のページに続きます。

(1) はなこさんたちは、1辺が5 cmの正三角形をかこうとしています。

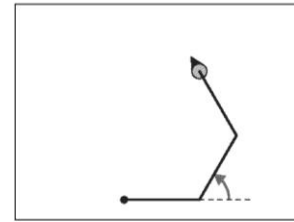


正三角形は、3つの辺の長さが等しくて、3つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

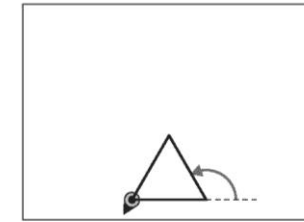
はなこさんは、正方形のプログラムをもとにして、正三角形をかいたためのプログラムをつくり、実行しました。



はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかくことができませんでした。



実際の結果



かこうとした正三角形

そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5 cmの直線を引く。
- ↓
- ② 左に60°回転する。
- ↓
- ③ 5 cmの直線を引く。
- ↓
- ④ 左に60°回転する。
- ↓
- ⑤ 5 cmの直線を引く。

5 cmの直線を引く。
左に60°回転する。
2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。



かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すかよいですか。下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

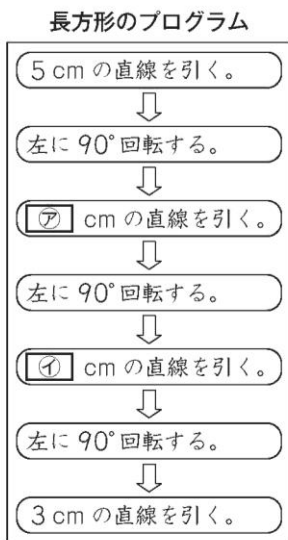
- ア 5 cmの直線を引く。
イ 左に60°回転する。

解答らん

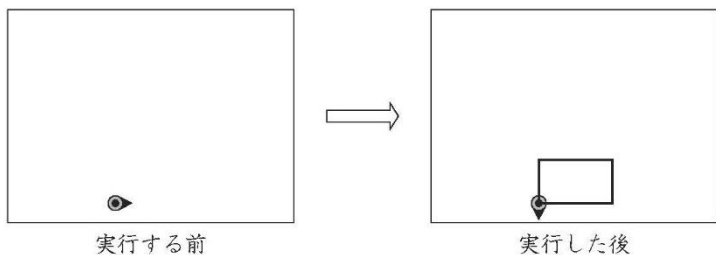
記号	正しい命令

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) 次に、ひろとさんは、**正方形のプログラム**の一部を変えて、^{たて}縦 3 cm、横 5 cm の長方形をかくために、下のプログラムをつくりました。



長方形のプログラムを実行すると、次のように長方形をかくことができました。

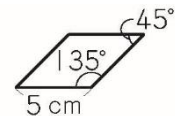


左の長方形のプログラムのア、イに入る数を書きましょう。

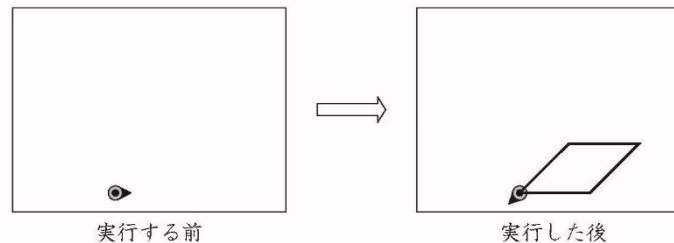
解答らん

ア	イ
---	---

(3) 次に、はなこさんは、**正方形のプログラム**の一部を変えて、下のようないし形をかくためのプログラムをつくりました。



プログラムを実行すると、次のようにひし形をかくことができました。



ひし形をかくことができるプログラムはどれですか。

ア から エ までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

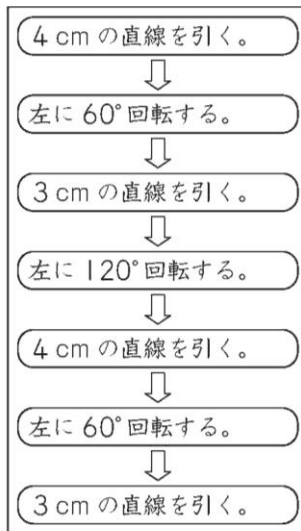
<p style="text-align: center;">ア</p> <pre> graph TD A1[5 cm の直線を引く。] --> B1[左に 45° 回転する。] B1 --> C1[5 cm の直線を引く。] C1 --> D1[左に 45° 回転する。] D1 --> E1[5 cm の直線を引く。] E1 --> F1[左に 45° 回転する。] F1 --> G1[5 cm の直線を引く。] </pre>	<p style="text-align: center;">イ</p> <pre> graph TD A2[5 cm の直線を引く。] --> B2[左に 45° 回転する。] B2 --> C2[5 cm の直線を引く。] C2 --> D2[左に 135° 回転する。] D2 --> E2[5 cm の直線を引く。] E2 --> F2[左に 45° 回転する。] F2 --> G2[5 cm の直線を引く。] </pre>	<p style="text-align: center;">ウ</p> <pre> graph TD A3[5 cm の直線を引く。] --> B3[左に 45° 回転する。] B3 --> C3[3 cm の直線を引く。] C3 --> D3[左に 45° 回転する。] D3 --> E3[5 cm の直線を引く。] E3 --> F3[左に 45° 回転する。] F3 --> G3[3 cm の直線を引く。] </pre>	<p style="text-align: center;">エ</p> <pre> graph TD A4[5 cm の直線を引く。] --> B4[5 cm の直線を引く。] B4 --> C4[左に 45° 回転する。] C4 --> D4[左に 135° 回転する。] D4 --> E4[5 cm の直線を引く。] E4 --> F4[5 cm の直線を引く。] F4 --> G4[左に 45° 回転する。] </pre>
---	--	---	--

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) 次に、ひろとさんは、下のプログラムをつくりました。

【ひろとさんがつくったプログラム】



【ひろとさんがつくったプログラム】 を実行すると、どのような図形をかくことができますか。

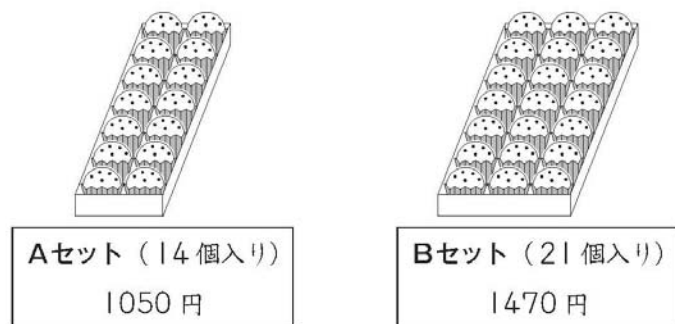
下の **1** から **5** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 二等辺三角形
- 2** 長方形
- 3** 平行四辺形
- 4** ひし形
- 5** 正六角形

解答らん

1

カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。



- (1) ゆうとさんは、Aセットを4箱買うことにしました。
Aセット4箱分の代金を求める式は、 1050×4 です。
 1050×4 を計算しましょう。

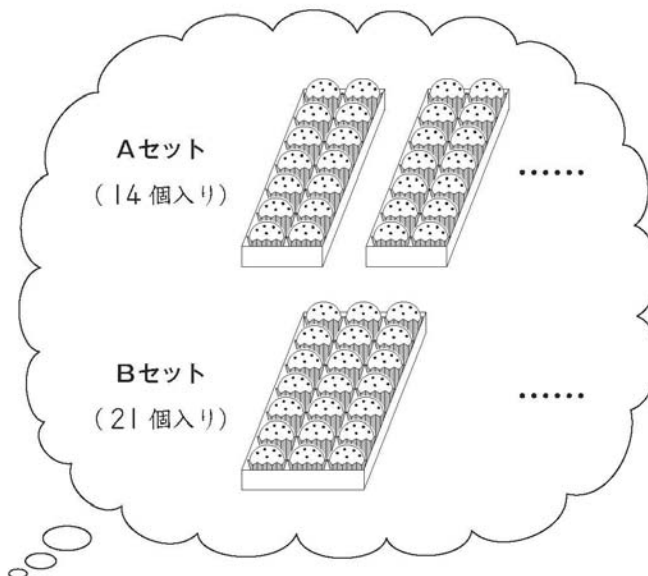
解答らん

4200

年 組 番 氏名

あいりさんたちは、AセットとBセットのカップケーキを同じ個数にそろえたとき、どちらのほうが安くなるのかについて考えています。

- (2) まず、あいりさんは、AセットとBセットをそれぞれ何箱か買ったとして、考えることにしました。



カップケーキの個数を、14と21の最小公倍数にそろえて考えます。

14と21の最小公倍数を書きましょう。

解答らん

42

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうとさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。



Aセット (14個入り)
1050円

【ゆうとさんの説明】



1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。



Bセット (21個入り)
1470円

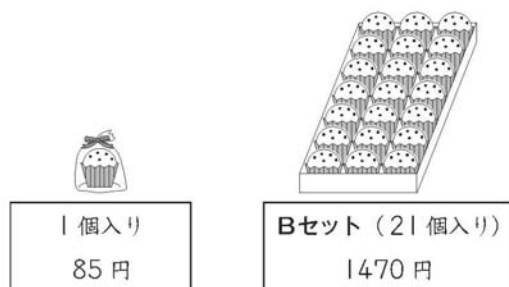
解答らん

(例)

1列のカップケーキが7個ずつ3列あります。3列の値段が1470円なので、1470を3等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

※ 問題は、次のページに続きます。

- (4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。
くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、**Bセット**
1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。



85×21 の答えが1470より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80，21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80，21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90，21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90，21を大きくみて30として計算します。

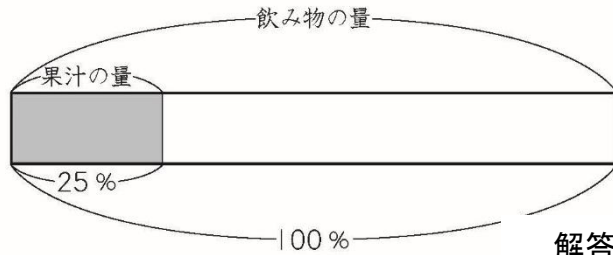
解答らん

ア

2

果汁入りの飲み物について考えます。

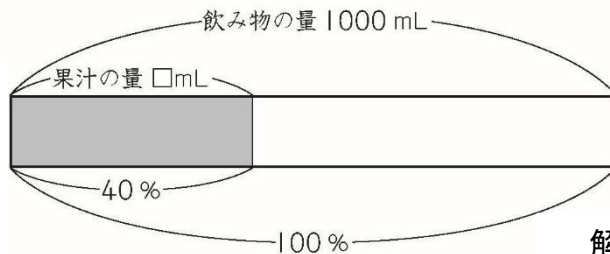
- (1) オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。
飲み物の量をもとにしたときの、果汁の量の割合を分数で表しましょう。



解答らん

$$\frac{1}{4} \left(\frac{25}{100} \right)$$

- (2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。
この飲み物1000 mLには、果汁が何 mL 入っていますか。
答えを書きましょう。

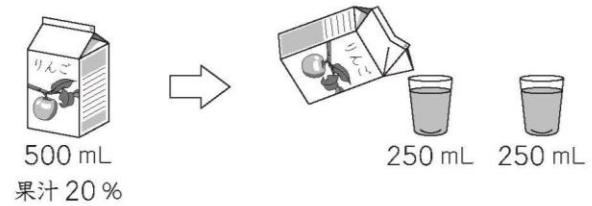


解答らん

$$400 \text{ mL}$$

年 組 番 氏名

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mL あります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mL になります。



250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

解答らん

$$3$$

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) かいとさんたちは、果汁の割合と果汁の量がわかっているとき、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、りんごの果汁の割合が30%で、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることにしました。



果汁が30%ということは、果汁が30 mLのとき、飲み物の量は100 mLですね。



そうですね。わたしは、果汁の量から飲み物の量を求めるために、表にまとめました。

果汁の量と飲み物の量

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

上の表を見て、かいとさんは、次のことに気づきました。



果汁の量が2倍、3倍になると、それにもなって飲み物の量も2倍、3倍になることがわかりました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

Diagram showing relationships between values in the table:
 - From 30 to 60 (果汁): 2倍 (2x)
 - From 60 to 90 (果汁): 3/2倍 (1.5x)
 - From 90 to 180 (果汁): 2倍 (2x)
 - From 100 to 200 (飲み物): 2倍 (2x)
 - From 200 to 300 (飲み物): 3/2倍 (1.5x)
 - From 300 to ? (飲み物): 3/2倍 (1.5x)

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。



下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

Diagram showing relationships between values in the table:
 - From 30 to 180 (果汁): □倍 (□x)
 - From 100 to ? (飲み物): □倍 (□x)

果汁の量が180 mLのときの飲み物の量は、何 mLになりますか。

180 mLが30 mLの何倍かをどのように求めたのかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

求め方

(例)

果じゅうの量は、 $180 \div 30 = 6$ で、6倍になっています。果じゅうの量が6倍になると飲み物の量も6倍になるので、飲み物の量は、 $100 \times 6 = 600$ で、600mLになります。

答え 600 mL

年 組 番 氏名

3

6年生のまなみさんの学級では、みんながもっと仲良くなるために、お楽しみ会をすることにしました。

(1) まなみさんたちは学級で話し合い、お楽しみ会の遊びを、次の4つの中から2つ決めることにしました。

クイズ	<small>たからが</small> 宝探し	しりとり	ビンゴ
-----	----------------------------	------	-----

そこで、24人の学級全員にアンケート調査をし、希望する遊びを1人に2つずつ選んでもらい、その結果を下の表にまとめています。

希望する遊び（お楽しみ会）

遊び	ビンゴ	クイズ	宝探し	しりとり	合計
票の数（票）	17	13	12	ア	48

表の中の **ア** に入る数を求めます。

表の中の数を使って、求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

式	$48 - (17 + 13 + 12)$ $48 - 17 - 13 - 12 \text{ など}$
答え	6

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決めます。



選んだ人がいちばん多いビンゴと、その次に多いクイズに決めたらどうでしょうか。



選んだ人がいちばん多いビンゴをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。一人一人が選んだ遊びを見てください。ビンゴとクイズに決めると、22番から24番の3人の希望が1つも通らないことになります。



ビンゴとクイズに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。



24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、24人全員の希望が1つは通るよう
に、2つの遊びを決めることができます。

その2つの遊びは、どれとどれですか。右の一人一人が選んだ遊びを見
て、下の **1** から **4** までの中から**2**つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 クイズ
- 2 たからさがし宝探し
- 3 しりとり
- 4 ビンゴ

一人一人が選んだ遊び

	選んだ遊び	
1	ビンゴ	クイズ
2	ビンゴ	クイズ
3	ビンゴ	クイズ
4	ビンゴ	クイズ
5	ビンゴ	クイズ
6	ビンゴ	クイズ
7	ビンゴ	クイズ
8	ビンゴ	クイズ
9	ビンゴ	クイズ
10	ビンゴ	宝探し
11	ビンゴ	宝探し
12	ビンゴ	宝探し
13	ビンゴ	宝探し
14	ビンゴ	宝探し
15	ビンゴ	しりとり
16	ビンゴ	しりとり
17	ビンゴ	しりとり
18	クイズ	宝探し
19	クイズ	宝探し
20	クイズ	宝探し
21	クイズ	宝探し
22	宝探し	しりとり
23	宝探し	しりとり
24	宝探し	しりとり

解答らん

2	4
---	---

※ 問題は、次のページに続きます。

お楽しみ会が終わり、今度は、1年生と交流会をすることにしました。
まなみさんたちは、交流会の遊びを1つ決めるために話し合っています。

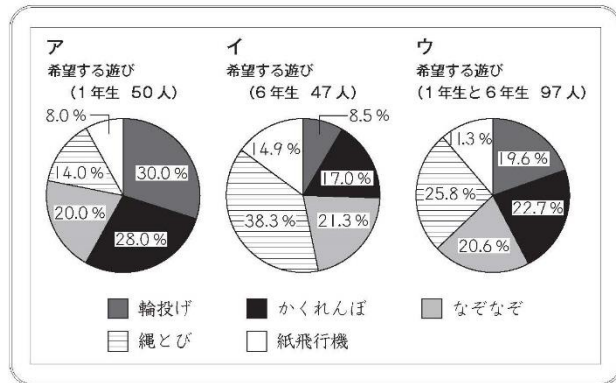


まなみ

1年生も6年生も楽しめる交流会がよいですね。

(3) まなみさんたちは、まず、1年生といっしょにできる5つの遊びを考えました。次に、1年生と6年生にアンケート調査を行い、5つの遊びの中から希望する遊びを、1人に1つずつ選んでもらいました。

アンケート調査の結果は、下のようなグラフになりました。



まなみさんは、交流会の遊びを次のように決めようと考えました。

【まなみさんの考え】

1年生と6年生が希望する遊びの割合を見て、その割合がいちばん大きい遊びに決めるとよいと思います。

【まなみさんの考え】をもとにすると、どのグラフを見ればよいですか。また、どの遊びに決まりますか。

グラフを左の **ア** から **ウ** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、遊びを下の5つの中から1つ選んで、書きましょう。

輪投げ かくれんぼ なぞなぞ 縄とび 紙飛行機

解答らん

グラフ **ウ** 遊び **縄とび**

(4) 交流会の遊びの決め方として、別の意見が出ました。



あかり

1年生の希望をよりかなえてあげるほうがよいと思います。

あかりさんたちは、1年生の希望を1人につき10ポイント、6年生の希望を1人につき5ポイントとして計算し、1年生と6年生のポイント数の合計で遊びを決めることにしました。そこで、下の表を見直しました。

		希望する遊び (交流会)					(人)
遊び	学年	輪投げ	かくれんぼ	なぞなぞ	縄とび	紙飛行機	合計
	1年	15	14	10	7	4	50
	6年	4	8	10	18	7	47

あかりさんは、輪投げのポイント数を次のように求めました。

【あかりさんの求め方】

輪投げを希望している人数は、1年生が15人、6年生が4人なので、輪投げのポイント数は、 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ で、170ポイントです。

【あかりさんの求め方】をもとにして、かくれんぼのポイント数を求めると、何ポイントになりますか。

1年生と6年生のそれぞれのポイント数の求め方がわかるようにして、かくれんぼのポイント数の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

解答らん

求め方

(例) かくれんぼを希望している人数は、1年生が14人、6年生が8人なので、かくれんぼのポイント数は、 $10 \times 14 + 5 \times 8 = 180$ で、180ポイントです。

答え

180 ポイント

4

コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。

はなこさんは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。



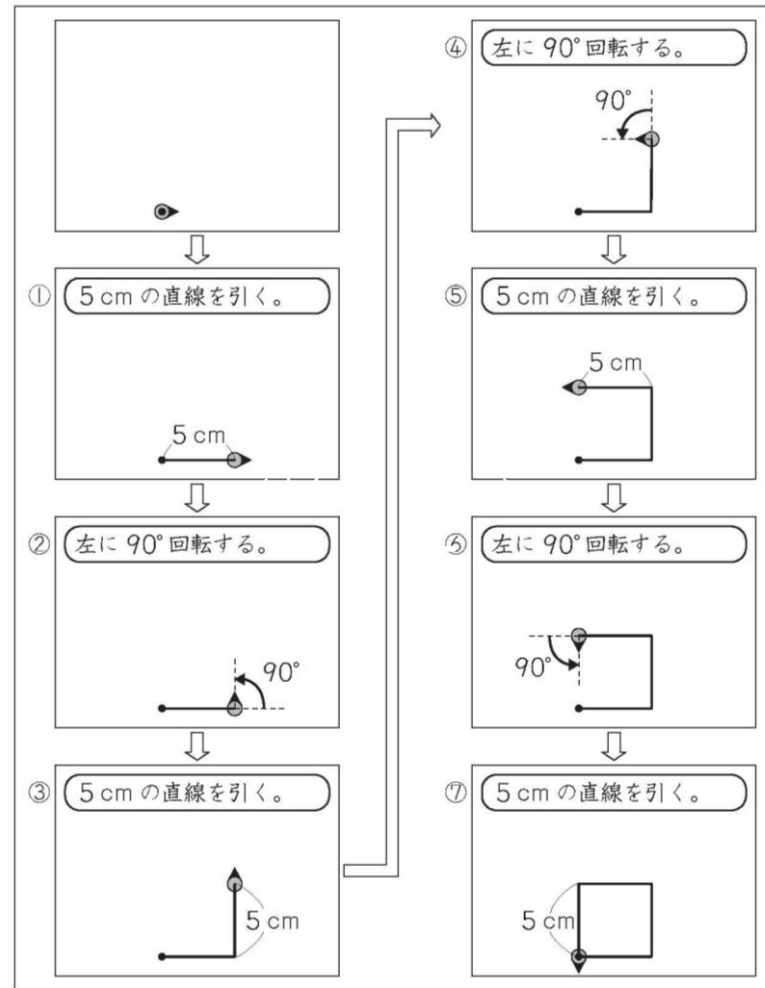
まず、正方形をかきましょう。正方形は、4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しい四角形ですね。

1辺が5cmの正方形をかくために、**正方形のプログラム**をつくりました。このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置(●)から命令ごとに、●が➡の方向に進みながら直線を引いたり、矢印(↶)の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

正方形のプログラム



年 組 番 氏名



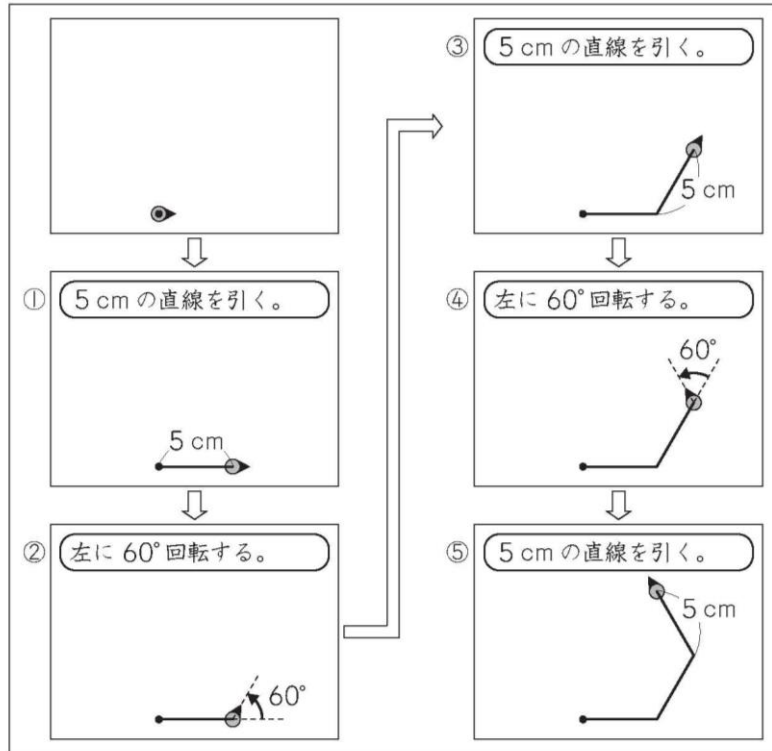
※ 問題は、次のページに続きます。

(1) はなこさんたちは、1辺が5 cmの正三角形をかこうとしています。

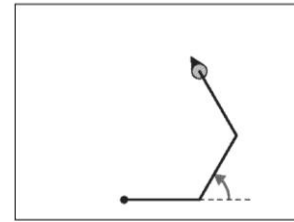


正三角形は、3つの辺の長さが等しくて、3つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

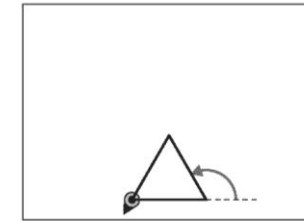
はなこさんは、正方形のプログラムをもとにして、正三角形をかくためのプログラムをつくり、実行しました。



はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかくことができませんでした。



実際の結果



かこうとした正三角形

そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5 cmの直線を引く。
- ↓
- ② 左に60°回転する。
- ↓
- ③ 5 cmの直線を引く。
- ↓
- ④ 左に60°回転する。
- ↓
- ⑤ 5 cmの直線を引く。

5 cmの直線を引く。
左に60°回転する。
2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。



かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すのでしょうか。下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

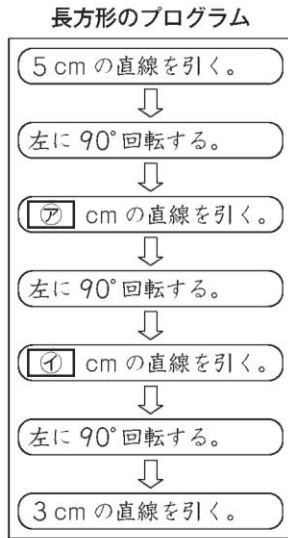
- ア 5 cmの直線を引く。
- イ 左に60°回転する。

解答らん

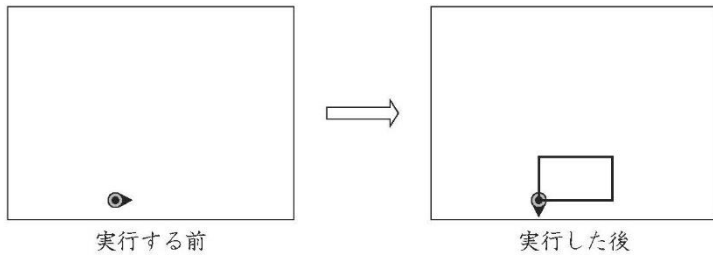
記号 イ	正しい命令 (例) 左に120°回転する。
-------------	-----------------------

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) 次に、ひろとさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、縦^{たて}3 cm、横5 cmの長方形をかくために、下のプログラムをつくりました。



長方形のプログラムを実行すると、次のように長方形をかくことができました。

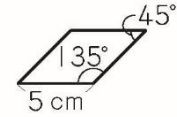


左の長方形のプログラムのア、イに入る数を書きましょう。

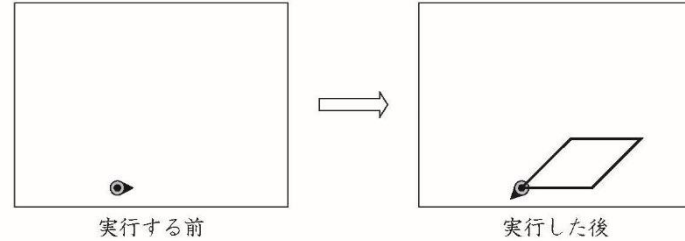
解答らん

ア 3	イ 5
-----	-----

(3) 次に、はなこさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、下のようないし形をかくためのプログラムをつくりました。



プログラムを実行すると、次のようにひし形をかくことができました。



ひし形をかくことができるプログラムはどれですか。

ア から エ までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

<p style="text-align: center;">ア</p> <pre> 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 </pre>	<p style="text-align: center;">イ</p> <pre> 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 135° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 </pre>	<p style="text-align: center;">ウ</p> <pre> 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 3 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 3 cm の直線を引く。 </pre>	<p style="text-align: center;">エ</p> <pre> 5 cm の直線を引く。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 ↓ 左に 135° 回転する。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 5 cm の直線を引く。 ↓ 左に 45° 回転する。 </pre>
---	--	---	--

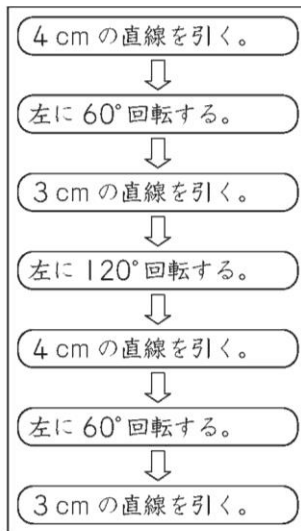
解答らん

イ

※ 問題は、次のページに続きます。

(4) 次に、ひろとさんは、下のプログラムをつくりました。

【ひろとさんがつくったプログラム】



【ひろとさんがつくったプログラム】 を実行すると、どのような図形をかくことができますか。

下の **1** から **5** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 二等辺三角形
- 2** 長方形
- 3** 平行四辺形
- 4** ひし形
- 5** 正六角形

解答らん

3